

簡易説明書

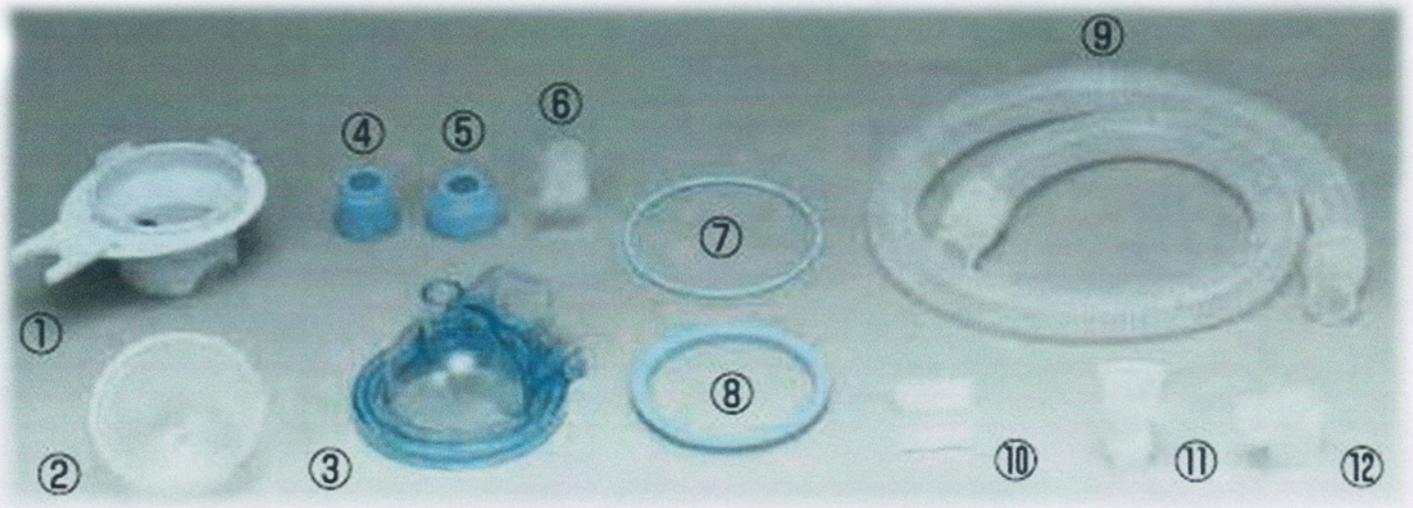
# ラドン吸入器

# 一、セット内容



- 温度エラー表示…内部電子部品の温度異常時に、黄色 LED が点灯します。
- 水位エラー表示…作用槽の水位低下時に、黄色 LED が点灯します。
- 電源ランプ……………通電状態の時に、緑色 LED が点灯します。

※エラー表示が点灯すると振動子の動作は停止しますが、電源ランプは点灯したまま送風ファンは動作しております。



- ① カップホルダー
- ② 薬液カップ
- ③ 霧化室
- ④ 少量霧化キャップ(小)
- ⑤ 少量霧化キャップ(大)
- ⑥ 酸素導入プラグ
- ⑦ 作用水槽パッキン
- ⑧ 霧化室パッキン
- ⑨ 耐熱蛇管
- ⑩ エアフィルター
- ⑪ マウスピース
- ⑫ L型アダプター
- ⑬ マスク(小)
- ⑭ ネフカイザーマスク(大)
- ⑮ ネフカイザーマスク(小)

④、⑤、⑥、⑩、⑪、⑫、⑬、は基本的に使用致しません。

①、②、③、⑦、⑧、は本体にあらかじめセットされています。

5、別紙説明書に従って薬液ボトルまでのセッティングを行います。

注、その際下部に入れる水もペットボトル等の水を使用すると水の入れ替えが2週間に1回程度で済みます。

6、薬液ボトルを取りだし⑥の薬液ボトル用ステンレスリングを底部中央に置き

⑤の薬液ボトル用ラジウム鉱石をリングの外側周囲に置きます。

注、薬液ボトル中央の凹部に障害物があるとミストが出なくなるので必ずリングで中央凹部には障害物がかからない様にして下さい。

7、ガラスボトルにて育成したラドン水を、薬液ボトルに入れます。

注、その際薬液ボトルには100cc程度まで水は入りますが、一杯まで入れずに使用する分だけ(4分の1、底から2cm程度)づつ入れて使用する事をお勧めします。

### 三、使用方法

1、別紙説明書に従ってカバーをして吸入を開始します。

美容に使用する場合吸入マスクは付けずにホースのまま肌近くに近付けてご使用下さい。

2、ミスト調整ダイヤルに付いて

吸引開始直後は、ダイヤルを最小より2目盛程度より始めて下さい。

1~2分たって慣れてきてから少しづつ目盛を上げて下さい

### 四、お手入れの仕方

1ヵ月に一回程度ガラスボトルの水を、ガラス又はステンレス容器等に移し、ラジウム鉱石とセラミックボールを取り出し1~2分程度煮沸して天日等で乾燥して下さい。

2週間に一回程度吸入器本体の水を取り出し乾燥して下さい。

### 五、より良くラドンを取り入れる為に

②のラドン水育成用ガラスボトルに入れる水は入れ替えずに約1000ccをMAXとして注ぎ足して下さい。多く入れても効果は十分ありますがラドン濃度が下がります。美容目的の場合は一杯まで入れても問題ありません。

全部の水を入れ替える場合は、必ず24時間以上育成してからご使用ください。

連続して長く吸引しても問題はありませんが

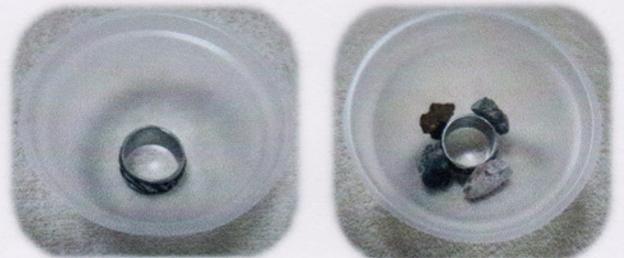
一回を10分程度とし10分以上休憩して回数を繰り返すほうがより効果的です。

5、③霧化室、②薬液カップ、①カップホルダーを取外し、本体⇒部分に約200cc(中央線)のあたり迄水を入れます。

注、その際下部に入れる水もペットボトル等の水を使用すると水の入れ替えが2週間に1回程度で済みます。



6、薬液ボトルを取りだし②⑦の薬液ボトル用ステンスリングを底部中央に置き②⑧の薬液ボトル用ラジウム鉱石をリングの外側周囲に置きます。



注、薬液ボトル中央の凹部に障害物があるとミストが出なくなるので必ずリングで中央凹部には障害物がかからない様にして下さい。

### 三、使用方法

1、ガラスボトルにて育成したラドン水を、薬液カップに入れます。

注、その際薬液ボトルには100cc程度まで水は入りますが、一杯まで入れずに使用する分だけ(4分の1、底から2cm程度)づつ入れて使用する事をお勧めします。



2、薬液カップを本体にセットします。

※連続で使用する場合、薬液カップは本体にセットしたままで上から注足して使用しても大丈夫です。

注、3時間以上使用間隔が空いた場合薬液カップの水は入替えてご使用下さい。



- 3、③霧化室を本体に取付け  
⑨の耐火蛇管と、⑭又は⑮の  
ネフライザーマスクを差込みます。

※霧化室、耐火蛇管、  
ネフライザーマスクは差込んだ  
ままでも大丈夫です。



- 4、ネフライザーマスクを口にあて、  
→の所位まで霧化調整つまみ  
を上げ、タイマーつまみを約10分  
(→の所)位まで上げ吸入を  
開始して下さい。



※美容に使用する場合吸入マスクは付けずにホースのまま肌近くに近付けてご使用下さい。

- 5、ミスト調整ダイヤルに付いて  
吸引開始直後は、ダイヤルを → 程度より始めて下さい。  
1~2分たって慣れてきてから少しづつ目盛を上げて下さい

#### 四、お手入れの仕方

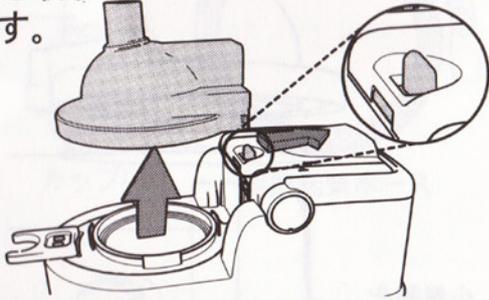
- 1、1ヵ月に一回程度ガラスボトルの水を、ガラス又はステンレス容器等に移し、ラジウム  
鉱石とセラミックボールを取り出し1~2分程度煮沸して天日等で乾燥して下さい。
- 2、2週間に一回程度吸入器本体の水を取り出し乾燥して下さい。

#### 五、より良くラドンを取り入れる為に

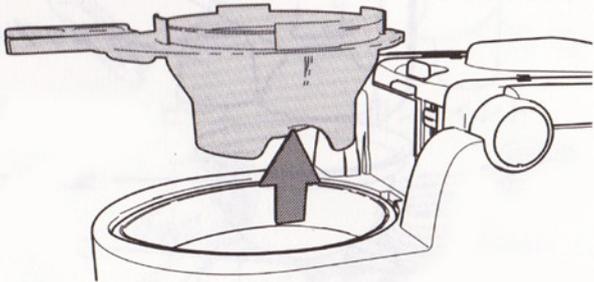
- 1、②のラドン水育成用ガラスボトルに入れる水は入れ替えずに約500ccをMAXとして  
注ぎ足して下さい。多く入れても効果は十分ありますがラドン濃度が下がります。  
※美容目的の場合は一杯まで入れても問題ありません。
- 2、全部の水を入れ替える場合は、必ず24時間以上育成してからご使用ください。
- 3、連続して長く吸引しても問題はありませんが  
一回を10分程度とし10分以上休憩して回数を繰り返すほうがより効果的です。

# 1 作用水を入れる

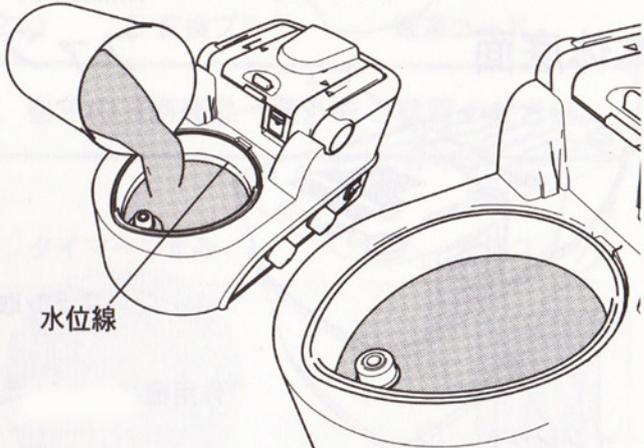
- 1) スライドボタンを後方にスライドさせ、霧化室を取り外します。



- 2) カップホルダーを取り外します。



- 3) 作用水を入れます。  
作用水は作用槽内の水位線まで入れてください。  
作用水は約200mL入ります。



- ※作用水が水位線より下がると『水位低下表示』の黄色LEDが点灯し、エラーとなります。
- ※作用水の水温が低い(約10℃以下)場合、霧化しないことがあります。(推奨水温は約26℃です)
- ※作用水は、毎回新しいものと入れ替えてください。

## 警告

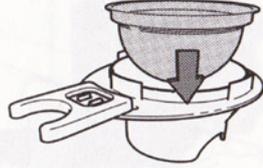


禁止

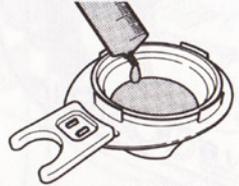
- 作用槽内には、水(水道水もしくは蒸留水)以外の液体は入れないこと。  
振動子が劣化し、破損や霧化能力の低下の原因になります。

# 2 薬液を入れ、噴霧部を取り付ける

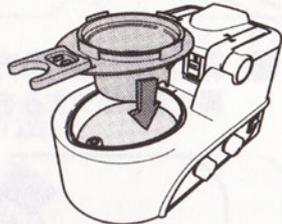
- 1) カップホルダーを水平で安定した場所に置き、薬液カップを取り付けます。  
薬液カップに破損や変形、破れ等がないことを確認してください。



- 2) 薬液カップに薬液を入れます。  
薬液は最大100mL入ります。

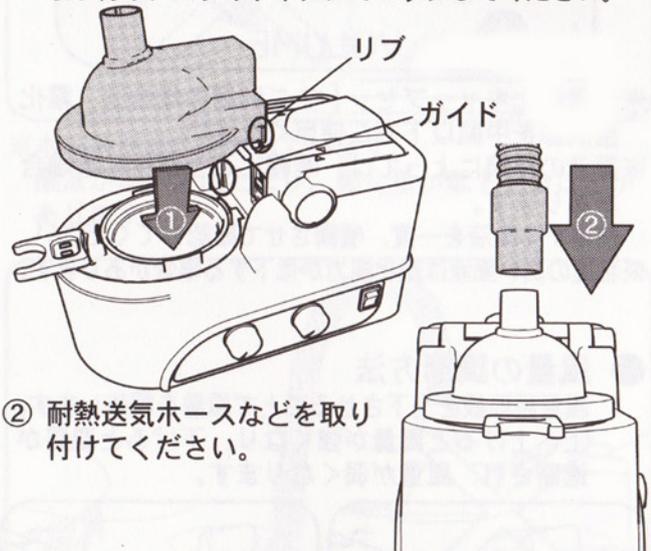


- 3) カップホルダーを本体へ取り付けます。



- 4) 霧化室を取り付けます。  
少量霧化キャップセットをご利用になる場合は、右記『少量霧化キャップセットの使い方』の通り霧化室へ取り付けてください。

- ① 霧化室のリップを本体のガイドに合わせ真上から取り付け、スライドボタンでロックしてください。



- ② 耐熱送気ホースなどを取り付けてください。

## 警告



必ず守る

- 薬液カップは消耗部品です。薬液カップにへこみや傷、穴あきなどある場合は使用前に新しいものと交換すること。  
作用水が薬液に混入し、感染や症状が悪化する恐れがあります。